

令和6年(1月～12月)労働災害の発生状況(速報値)

※労働者死傷病報告(休業4日以上)の死傷災害により作成
 ※()内の数値は死亡者数(内数)を表す

業種別の労働災害発生状況(対前年比)

【表 業種別の労働災害発生状況】

尼崎労働基準監督署

業 種	令和6年(1月～12月)		前 年 同 期		前 年 比 較		
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)	
全 産 業	391 (2)	100.0% (100.0%)	414 (1)	100.0% (100.0%)	-23 (1)	-5.6% (100.0%)	
第一・二次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 含む)	184 (1)	47.1% (50.0%)	207 (1)	50.0% (100.0%)	-23 ()	-11.1% ()	
製 造 業	70	17.9% ()	89	21.5% ()	-19 ()	-21.3% (-)	
鉱 業		()		()	()	(-)	
建 設 業	36	9.2% ()	24 (1)	5.8% (100.0%)	12 (-1)	50.0% (-100.0%)	
運 輸 交 通 業	55	14.1% ()	69	16.7% ()	-14 ()	-20.3% (-)	
貨 物 取 扱 業	16	4.1% ()	15	3.6% ()	1 ()	6.7% (-)	
農 林 業	2 (1)	0.5% (50.0%)	4	1.0% ()	-2 (1)	-50.0% (-)	
畜 産 ・ 水 産 業	5	1.3% ()	6	1.4% ()	-1 ()	-16.7% (-)	
第三次産業計 (運輸交通業、貨物取扱業を 除く)	207 (1)	52.9% (50.0%)	207	50.0% ()	(1)	(-)	
商 業	卸 売 業	4	1.0% ()	5	1.2% ()	-1 ()	-20.0% (-)
	小 売 業	30	7.7% ()	48	11.6% ()	-18 ()	-37.5% (-)
	上記以外の商業	11	2.8% ()	9	2.2% ()	2 ()	22.2% (-)
	計	45	11.5% ()	62	15.0% ()	-17 ()	-27.4% (-)
通 信 業	8	2.0% ()	5	1.2% ()	3 ()	60.0% (-)	
保 健 衛 生 業	医 療 保 健 業	23	5.9% ()	19	4.6% ()	4 ()	21.1% (-)
	社 会 福 祉 施 設	58	14.8% ()	63	15.2% ()	-5 ()	-7.9% (-)
	上記以外の保健衛生業		()		()	()	(-)
	計	81	20.7% ()	82	19.8% ()	-1 ()	-1.2% (-)
接 客 娛 楽 業	飲 食 店	22	5.6% ()	12	2.9% ()	10 ()	83.3% (-)
	ゴ ル フ 場		()		()	()	(-)
	上記以外の接客娯楽業	6	1.5% ()	2	0.5% ()	4 ()	200.0% (-)
	計	28	7.2% ()	14	3.4% ()	14 ()	100.0% (-)
清 掃 ・ と 畜 業	ビルメンテナンス業	7	1.8% ()	6	1.4% ()	1 ()	16.7% (-)
	廃 棄 物 処 理 業	6	1.5% ()	10	2.4% ()	-4 ()	-40.0% (-)
	上記以外の清掃・と畜業	2	0.5% ()	5	1.2% ()	-3 ()	-60.0% (-)
	計	15	3.8% ()	21	5.1% ()	-6 ()	-28.6% (-)
そ の 他 の 事 業	警 備 業	8	2.0% ()	6	1.4% ()	2 ()	33.3% (-)
	上記以外のその他の事業	13 (1)	3.3% (50.0%)	13	3.1% ()	(1)	(-)
	計	21 (1)	5.4% (50.0%)	19	4.6% ()	2 (1)	10.5% (-)
金 融 広 告 業	5	1.3% ()		()	5 ()	(-)	
映 画 演 劇 業		()		()	()	(-)	
教 育 研 究 業	4	1.0% ()	4	1.0% ()	()	(-)	
官 公 署		()		()	()	(-)	
(陸上貨物運送業)	64	16.4%	67	16.2%	-3 ()	-4.5% (-)	

注 一 〇 第三次産業は通常、非工業的業種に運輸交通業、接客娯楽業、清掃・と畜業を加えたものをいいますが、ここでは、非工業的業種(商業、通信業、保健衛生業、接客娯楽業、清掃・と畜業、その他の事業、金融広告業、映画演劇業、教育研究業、官公署)を第三次産業と呼んでいます。